

【南第二小学校】避難施設関係者連絡会実施報告書

- 1 実施日時 2022 年 7 月 14 日(木) 14 : 00 ~ 16 : 30
- 2 開催場所 南第二小学校
- 3 出席者 [書ききれない場合は裏面の空いてる欄に氏名の記入をお願いします。]

【南第二小学校】 学校長 副校長

町
田
市
指
定
職
員

2名

所属 町田市防災課 1名

市民

組織名 鹿島自治会

組織名 鹿島自治会

組織名 エステ・スクエア成瀬

組織名 エステ・スクエア成瀬

組織名 成瀬団地自治会

組織名 成瀬町内会

組織名 南成瀬中央町内会

組織名 南成瀬中央町内会

組織名

組織名

組織名

組織名

4 議事録（連絡会の中ででた主な意見や意見交換内容など）

・自己紹介後、軽く過去の議事録を振り返る。過去は成瀬高校と合同であったが、間があいているので個別で開催。

3.マニュアル確認

今までは開設時の受付が1つであったが、事前受付が加わった(指定職員が対応)。

Q 指定職員が各避難施設に行くのか。

A(防災課) 4人が担当となっており、震度6弱以上の揺れが町田市内で起こった場合、来ることになっている。

マニュアル 3.3㎡に2人→4㎡に一世帯。防災課としては在宅避難も促している。これから地域の皆様と共有し

ていきたい。

Q.町田市の一世代平均→2.1人。これでよろしいか。

Q.5人以上と書いた場合どうするか

A(防災課)年齢等も加味し、状況によって2区画にするなどの対応をする。

Q.マニュアルP13 各エリアの間隔を1mを確保とはどういうことか。

A. テント等の仕切りや通路がある場合はそれぞれの1mは確保しなくても良い。

鹿島自治会: 入れる入れないで揉めてしまう。持ち込みテントや車がある人は校庭に入れるなど現実的に考えなければいけないのでは。緊急避難所と長期的な避難所の意識を分けなきゃいけない。

町田市:屋外テントについては市全体で約900張買う。避難者推計の見直し93,000→58,000人→これを鑑みながら屋外テントの配置等も検討していく。

また、学校だけでなく、屋外の広場の活用も含め検討しているので共有していきたい。

町田市:マニュアルに記載されている収容可能人数も4㎡で単純計算すると、223人(第一段階)、660人(第二段階) 合計883人となる。

鹿島自治会: その計算も違うのでは?→通路も含まれている。

この424は実状に即していないから、この883という数字が独り歩きしてはいけない。

エステ・スクエア:この人数は地域拠点に即したものであって備蓄品との整合性はどうか。成瀬高校は都立だが市との兼ね合いは?

自治会加入率が50%をきっている。加入していない方の意見は?

南2小の昼間だったらどうするの?使えるところはグラウンドなど全部使うという方向性に変わったということでもいいか?

柔軟に対応するという方向に変わったということでもいいか?

町田市:まずは指定職員が現況確認して、対応は防災課が決めていく。

南二小:普通教室はよっぽどのことがない限り教育機能を持っておきたい。第二段階の考え方としてはよっぽどのことがおきたときという解釈でいいか。

町田市:その考えに相違ない。

南成瀬中央町内会:障がい者やペットの問題とかもある。

エステ・スクエア:指定職員は地域の人か。

4人の人はまずどうするの?実状に即していない。

町田市:10km以内に住む職員である。指定職員は震度6弱以上の揺れが市内で起きた場合に指定場所に向かうことになっている。実状もあるが、そこは地域の自助共助、施設側との連携をすることで解消したい。

また、セキュリティについても、どこまで情報を共有するかということも最終的に共有していく必要がある。

南二小:体育館だけは別系統になっているので、まずそこを開けるということでは校舎棟のセキュリティは担保できる。

町田市:鍵の開け閉め等については開設訓練で対応するというので良いか。

南成瀬中央町内会:人も変わっているのでその必要がある。

町田市:施設配置図において、基本的にペットは受け入れる考えである。ペットの種類でひとかたまりに避難する。

成瀬町内会:体育館の中には連れてこないということ?

町田市:はい。

南成瀬中央町内会:盲導犬は別?

町田市:はい。体育館のスペースのとり方はなるべく人が入れるようなレイアウトを考えていければと思っている。

南二小:避難できる人は先着順か。本当に避難が必要な人ほど遅れるのでは?トリアージする手段はないか。

町田市:一時的には受け入れるが帰れる人は帰るとするのが限界。あとは、受付の段階で確認する。

鹿島自治会:自治会に入っていない人は市でコントロールしてもらわないと。

町田市:自治会に入っていない人向けにも講習会を行ったりしている。違った分野からアプローチしている。

南二小:教育機能と避難施設の共存だが、教育は子どもを預かるという側面もあるから、共存できるように市民に周知してほしい。

エステ・スクエア:市としての基本的な考え方を示せるようにしてほしい。行政の公平性が数年前は食糧の量などが一律になっていた。

ベースはこうだが、実状に即したマニュアルにしておいてほしい。全部地域によって違うということだと住民としてどう捉えたら良いかわからなくなってしまう。成瀬高校と南2小で全く違うと困ってしまう。

成瀬町内会:避難施設情報は何人を基準としているか。

エステ・スクエア:熊本をきっかけに備蓄品等も変えてきたと思うが、どういう数値を基準としているか明らかにした上でないとう増やすかが検討できない。

指定職員が来なかった場合はどうするか。まずは基本的な考え方を明らかにしておかないといけない。今は一律じゃない。だから備蓄品の数も変わってきている。市として出来る範囲を示してほしい。

町田市:算出根拠は3食3日分400人。

成瀬町内会:紙おむつ、生理用品数の根拠は?ペットを受け入れられるようになったが、ペットの備蓄品は?→市内女性の割合から算出。

町田市:ペットの備蓄はない。進めていないので、飼い主が持参する。

南二小:フローチャート 基本的案シミュレーションをつくって以前から積み上げてきたものはあると思う。これに熊本とかのイレギュラーを加え、次回確認出来るといい。

空白の3年間の有災時の対応を示してほしい。また、新校においてはこれまでの内容を踏まえたものにしてほしい。

防災と教育が連携してほしい。本町田等も同じことが言われている。

成瀬町内会:早く具体的に示してほしい(3年間と)

開設訓練について

コロナの状況は鑑みなければ。→秋以降

11月12日(土)学習発表会 午後であれば

非常用発電、体育館空調を見て回るなど内容の提案はさせていただく。